授業科目名	医学研究序論 (Introduction for medical research)		
対象学年	1年生	単位	2単位
科目責任者	やすだ ともはる 保田 朋波流	所属	免疫学
授業方法	講義中心、パワーポイント多用（オムニバス方式）		
概要	医師となるために受ける教育の中で、医学・医療の発展における医学的研究の重要性・必要性を学ぶ。		
到達目標	研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。医学的研究の目的・方法・結果の解析・有用性を知る。		
講義日程	<p>第1回：I. 講義ガイダンス II. 基礎研究・臨床研究・トランスレーショナルリサーチ概論（保田 朋波流）</p> <p>第2回：生命現象の物理学（藤原 祐一郎）</p> <p>第3回：ためしてガッテン基礎医学研究者（酒井 規雄）</p> <p>第4回：基礎研究は面白い！～細胞の生き死にって大事と思いませんか？（森脇 健太）</p> <p>第5回：生まれたての脳は柔らかい～神経回路の生後発達～（橋本 浩一）</p> <p>第6回：免疫学序論（保田 朋波流）</p> <p>第7回：ウイルスの基礎研究から予防・治療へ（坂口 剛正）</p> <p>第8回：地下鉄サリン事件とは（長尾 正崇）</p> <p>第9回：良い医療者になるために（福間 真悟）</p> <p>第10回：医学研究における脳科学的アプローチ（相澤 秀紀）</p> <p>第11回：医学研究における病理診断・病理学研究の意義－病理の世界をのぞいてみよう！（武島 幸男）</p> <p>第12回：病気を“分子病理学”的に理解する（三井 伸二）</p> <p>第13回：災害医療が見える化する（久保 達彦）</p> <p>第14回：染色体の研究から細胞核の研究へ（田代 聡）</p> <p>第15回：四次元顕微解剖学～覗いてみよう！細胞の骨や毛の動き～（池上 浩司）</p>		
評価項目	提出レポート、受講態度など。		
評価法	試験は行わない。 随時、レポートの提出が求められる。		
予習・復習へのアドバイス	講義前後にスライドを確認し、必要に応じて参考書を用いて、内容の理解に努めること。		
履修上の注意 アドバイス	医学生としての必須の授業であり、欠席することは許されない。出席は各講義のレポート提出によりカウントする。		
推奨参考書	なし		